

第5回 明治大学和泉小史展

明治大学創立者 岸本辰雄展

会期 2004年7月5日(月)～9月30日(木)

会場 和泉キャンパス第1校舎1階ロビー

主幹 明治大学史資料センター事務室

明治大学の前身である明治法律学校は、1881（明治14）年1月17日、現在の東京都千代田区有楽町の地に開校しました。その中心となったのが、鳥取藩出身の岸本辰雄、天童藩出身の宮城浩蔵、鯖江藩出身の矢代操という3名の創立者です。

本展示では、そのうちのひとり岸本辰雄にスポットを当てつつ、同時に草創期の明治大学の歴史についても紹介します。

明治法律学校は、1881年の開校以来、駿河台への移転、明治大学としての大学昇格と着実に発展してゆきました。しかし、一方では、岸本をはじめとした創立者やその周辺の人びとの苦難の歴史もありました。

本展示をつうじて、伝統ある明治大学の草創期、および創立者の一端を想っていただければ幸いに思います。

なお、お問い合わせは明治大学史資料センター事務室までお願ひいたします。



岸本辰雄

展示品

1 岸本辰雄の誕生から明治法律学校開校まで

(1) 岸本辰雄の生い立ち

岸本辰雄は、ペリー艦隊が浦賀に来航する2年前の1851（嘉永4）年11月、鳥取藩の下級武士の家に生まれました。

山陰地方随一の大藩であった鳥取藩は、幕末期すでに京都に進出、国事周旋活動を展開しており、岸本も戊辰戦争時に京都に派遣されています。その後、東京へ遊学、法学を志すことになります。

(2) [展示資料] パリ大学学籍簿

1872（明治5）年、岸本辰雄は大学南校（現在の東京大学）から司法省に新設された法学校に移りました。同校でボアソナードなどからフランス法学を学んだ後、選ばれてパリへ留学しました。

(3) 法制官僚としての岸本辰雄

帰国後の岸本辰雄は、国費留学生としての義務でもあったため、大審院判事など多くの官職に就きました。とくに法典編纂に活躍しました。

2 明治法律学校の開校と岸本辰雄

(1) 明治法律学校の開校

岸本辰雄は、法制官僚としての公務の傍ら、1881（明治14）年1月に明治法律学校を創立、自ら教鞭も執りました。その設立趣旨書が〔資料1〕です。この資料で注目すべきは、法学を学ぶ意義として「権利自由」を述べている点です。このことばは、明治大学建学の精神のひとつでもあります。

また〔資料2〕は、「東京横浜毎日新聞」に掲載された「明治法律学校設立広告」です。この中に「同心協力」ということばが確認できます。この「同心協力」は建学の精神ではありませんが、現在もなお明治大学に伝わる創立者の精神です。

(2) 明治法律学校の経営

開校当初、明治法律学校は厳しい経営を迫られました。そのため岸本辰雄らは無給であったばかりでなく、学校経営のために借金をせざるを得ない状況でした。

(3) 旧島原藩上屋敷時代の明治法律学校（想像図）（1950・昭和25年）

開校当初は旧島原藩邸の一角を借用していました。この絵は、第1回卒業生らの座談会をもとに、創立70周年時に制作されたものです。

夫レ法律ノ管スル所ハ其区域廣漠ニシテ其目枚举ニ遑マ
アラス。蓋シ之ヲ大ニシテハ社會ノ構成ナリ政府ノ組織
ナリ、之ヲ小ニシテハ人々各自ノ權利自由ナリ。凡ソ邦
國ノ榮譽人類ノ命脈皆此學ニ係ラサルナシ。嗚呼人文ノ
開明國運ノ進歩ヲ圖ル者此ヲ舍テ其為クニ力求ンヤ。

(中略)

明治法律学校設立ノ趣旨

明治法律学校設立ノ趣旨
(一八八一・明治一四年)

明治十四年一月
創業者

※漢字の一部を常用漢字に直し、句読点を付しました。

〔資料1〕明治法律学校設立ノ趣旨

(一八八一・明治一四年)

明治法律學校設立廣告
同
矢宮代浩藏操
佛西朝大學法律學士
三十九番地姪田幸三邸方寓慈靈齋藤孝治
治十四年一月より數場を開講の國恩と報ひル
教訓及び校則の如きい本校位置確定まで小川町其のん明
見せらるべし
十二月

〔資料2〕明治法律学校設立廣告
(1880・明治13年)



旧島原藩上屋敷時代の明治法律学校（想像図）（1950・昭和25年）

(4) [展示史料] 判事登用試験合格記念写真 (1884・明治17年)

この写真は、1884（明治17）年の判事登用試験合格記念です。岸本辰雄（後列左から2番目）のほかに宮城浩蔵（中列左から6番目）や矢代操（中列1番左）、西園寺公望（中列左から3番目）、杉村虎一（中列1番右）らも写っています。

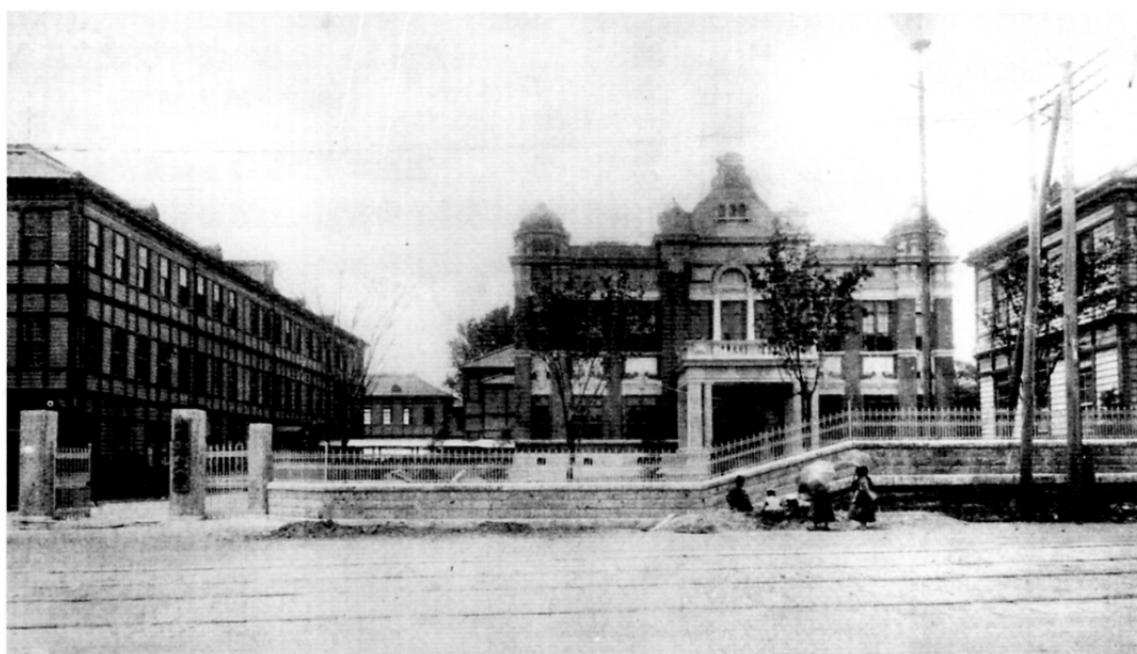
3 明治大学の発展と岸本辰雄の死

(1) 学生の増加と駿河台への移転（〔展示資料〕あり）

明治法律学校は、学生数の増加に伴い、1886（明治19）年12月に現在の駿河台キャンパスの向かいにあたる南甲賀町に移転します。だが、さらなる学生数の増加によって、1911（明治44）年に現在の駿河台キャンパスへ移転しました。

(2) 明治大学への改称と記念館の竣工（〔展示資料〕あり）

明治法律学校は、1903（明治36）年、専門学校令により「私立明治大学」と改称しました。展示資料「南甲賀町校舎」は、ちょうどこの頃の明大のようすです。また創立30周年にあたる1911年には、先に述べたように現在の駿河台キャンパスに移転するとともに、下段の写真中央部やや右に見える記念館が竣工しました（翌年3月焼失）。



記念館竣工当時の駿河台キャンパス（1911・明治44年）

(3) 岸本辰雄の死（〔展示資料〕あり）

岸本は、1912（明治45年）年4月死去しました。彼は現在、台東区谷中の墓地に眠っています。〔展示資料〕にある胸像は、駿河台キャンパスに建てられた胸像です。

〔編集・発行・お問い合わせ先〕

明治大学史資料センター事務室（駿河台キャンパス、大学会館6階）

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1

電話 03-3296-4085/4329 FAX 03-3296-4086

明治大学URL <http://www.meiji.ac.jp/>

〔発行日〕 2004年7月5日

〔印 刷〕 二葉印刷有限会社